

授業科目名・形態	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	海老澤 圭視	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

今日の社会福祉の実践においては、複合的な課題を抱えるクライアント、課題の重症化に至ったケースなど、支援の難しさを感じる事例が少なくない。そのような状況に対し、社会福祉士としてどう向き合い解決をすべきか、そこにはソーシャルワークの理論が必要不可欠となる。本科目では、ソーシャルワーク実践における必要な基本的な知識・技術の習得を目指したい。

【到達目標】

- 1) 社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。
- 2) 支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 総合的かつ包括的な支援の考え方
- 第2回 家族支援の実際①
- 第3回 家族支援の実際②
- 第4回 地域支援の実際①
- 第5回 地域支援の実際②
- 第6回 非常時や災害時支援の実際
- 第7回 援助関係形成の意義と概念
- 第8回 援助関係の形成方法と留意的①
- 第9回 援助関係の形成方法と留意的②
- 第10回 ネットワーキング
- 第11回 コーディネーション
- 第12回 社会資源の活用・調整
- 第13回 ソーシャルワークの実践と社会資源
- 第14回 社会資源開発のさまざまな方法
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義と演習で行う。

【授業準備】

1. 受講するすべての学生は各回の授業において参照する教科書の該当ページを授業前に一度は読んでくること。
2. 教科書の該当ページにおけるわからない語句などを専門書や辞典などを用いて調べておくこと。
3. 社会福祉専門職になろうとする高い意欲のある学生は、日頃から新聞などで報じられる社会福祉に関する問題に関心を持ち、社会問題とソーシャルワーク専門職との関係について確認すること。

【主な関連する科目】

社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ～Ⅳ、ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ など

【教科書等】

最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]、中央法規、2021.

【参考文献】

必要に応じて、講義の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

講義・演習への参加態度（主体的な授業参加態度を重視する）10%、定期試験 80%、提出課題・レポート 10%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政機関における社会福祉士として実践してきた経験から、ソーシャルワークの原理や理念を基礎から理解できる授業の展開を行う。

【学生へのメッセージ】

ソーシャルワークの実践においては、理論を丁寧に習得し、それを実践で活かせる能力が必要となります。一つずつ丁寧に習得をしていきましょう。